

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

平成27年産水稻におけるトビイロウンカ及びコブノメイガの 発生予想パターンについて（第2報）

本年のトビイロウンカの発生予想パターンについては、7月14日に第1報をお知らせしたところです（病害虫対策資料第9号）。

今回、7月23日までの飛来状況（表1）と気温の経過をもとに、トビイロウンカ（第2版）と新たにコブノメイガの発生予想パターンを作成しましたので（図1、2）、各地域における発生状況の把握や防除要否の検討に当たっての参考としてください。

記

1. トビイロウンカ

1) 飛来・発生状況

- (1) 県内および他県の予察灯及びネットトラップでの捕獲状況から、県内には6月30日頃、7月13日頃、7月22日頃に飛来したと考えられる（表1、病害虫対策資料第9号参照）。
- (2) 7月上旬の巡回調査(76圃場)では、寄生株率は0.0%(平年1.1%)、発生圃場率は1.3%であった。

2) 防除対策

- (1) 飛来量及び本田での増殖量は地域及び圃場ごとに異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認し、7月下旬～8月上旬に10株あたり成虫及び幼虫の合計値が2頭以上みられた圃場では、**幼虫ふ化揃い期**に防除を行う（図1）。
- (2) 本種の増殖率は極めて高いことから、飛来量が少なくても坪枯れの被害を発生させることがあるため、今後の発生状況に注意する。
- (3) 本種の生態や防除対策の詳細については、「病害虫防除のてびき」や「トビイロウンカの生態と防除に関するQ&A」^{注)}を参照する。

注) 農業技術防除センターのホームページ (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/boujo.html>) に掲載中。

2. コブノメイガ

1) 飛来・発生状況

- (1) 佐賀市に設置したライトトラップにおいて6月17日に誘殺が認められた（表1）。
- (2) 7月上旬の巡回調査(76圃場)では、寄生株率は1.4%(平年3.0%)、発生圃場率は18.4%であった。

2) 防除対策

(1) 飛来量及び本田での増殖量は地域及び圃場ごとに異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認し、発蛾最盛期の7日後（幼虫ふ化揃い期）に防除を行う（図2）。

3. 今後の予想等

今後、新たな飛来波が加わる可能性もある。最新の飛来状況については、農業技術防除センターのホームページ（<http://www.pref.saga.lg.jp/web/boujo.html>）における「海外飛来性害虫情報」を参照のこと。

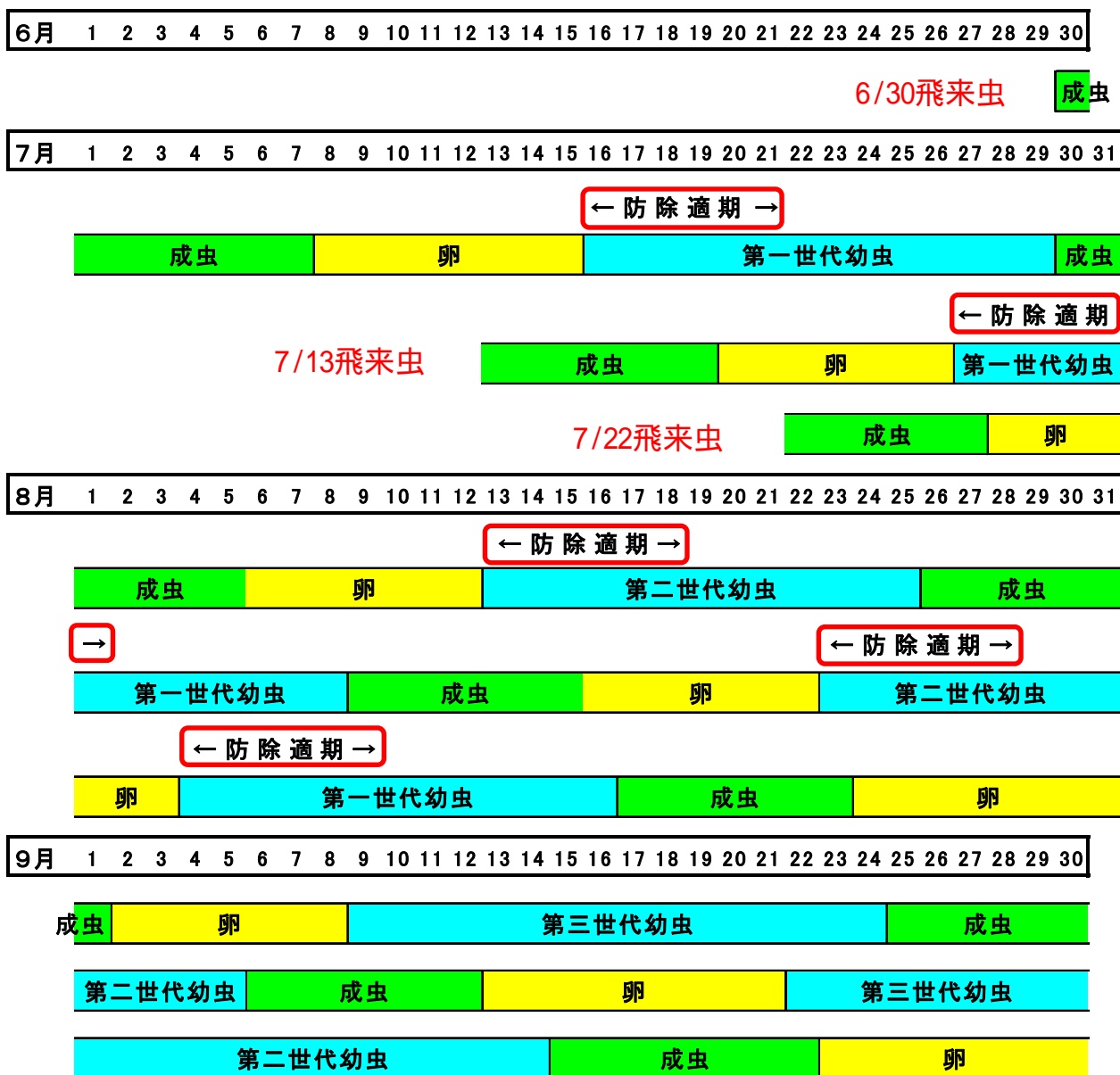
表1 ウンカ類及びコブノメイガの飛来状況（平成27年）

月	日	トビイロウンカ					セジロウンカ					コブノメイガ							
		佐賀県			長崎県		佐賀県			長崎県		佐賀県				長崎県			
		佐賀市	佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	佐賀市	佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	佐賀市	佐賀市	神埼市	伊万里市	白石町	嬉野市	諫早市	諫早市
		ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップ	ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップ	フェロモン トラップ	粘着トラップ (20W蛍光灯)	粘着トラップ (20W蛍光灯)	粘着トラップ (20W蛍光灯)	粘着トラップ (20W蛍光灯)	粘着トラップ (20W蛍光灯)	フェロモン トラップA	フェロモン トラップB
6月	1日	0	0	欠測	0	0	0	0	欠測	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2日	0	0	欠測	0	0	0	0	欠測	36	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3日	0	0	欠測	0	0	3	0	欠測	25	5	0	0	0	0	0	0	0	
	4日	0	0	欠測	0	0	0	0	欠測	4	0	0	0	0	0	0	1	0	
	5日	0	0	欠測	0	0	2	0	欠測	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6日	0	0	欠測	0	0	0	0	欠測	2	2	0	0	0	0	0	0	0	
	7日	0	0	欠測	0	0	1	0	欠測	9	1	0	0	0	0	0	1	0	
	8日	0	0	0	0	0	0	0	1	33	0	0	0	0	0	0	1	0	
	9日	0	0	0	0	0	0	0	0	47	1	0	0	0	0	0	0	0	
	10日	0	0	0	0	0	0	0	8	9	0	0	0	0	0	0	0	0	
	11日	0	0	0	0	0	1	0	1	83	0	0	0	0	0	0	0	0	
	12日	0	0	0	0	0	16	0	0	10	0	0	0	0	0	0	5	0	
	13日	0	0	0	0	0	0	0	10	6	0	0	0	0	0	0	3	0	
	14日	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	6	2	
	15日	0	0	0	0	0	0	0	1	51	0	0	0	0	0	0	7	0	
	16日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	7	0	
	17日	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	1	0	0	0	1	0	
	18日	0	0	0	0	0	0	0	1	36	0	0	0	0	0	0	1	0	
	19日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
	20日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
	21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	
	22日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	23日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	24日	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	25日	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	26日	0	0	0	0	0	0	3	2	5	0	0	0	0	0	0	2	2	
	27日	0	0	0	0	0	0	0	2	7	0	0	0	0	0	0	4	4	
	28日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	1	
	29日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	
	30日	0	0	0	0	欠測	14	0	2	94	欠測	0	0	0	0	0	0	1	
7月	1日	0	0	0	1	0	0	0	0	102	0	0	0	0	0	0	0	5	
	2日	0	0	0	0	0	0	0	2	82	0	0	0	0	0	0	0	5	
	3日	0	0	0	0	0	0	0	0	42	0	0	0	0	0	0	0	2	
	4日	0	0	0	0	0	0	0	1	9	0	0	0	0	0	0	2	7	
	5日	0	0	0	0	0	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	2	
	6日	0	0	0	0	0	0	0	9	12	0	0	0	0	0	0	0	0	
	7日	0	0	0	0	0	0	0	5	11	0	0	0	0	0	0	0	0	
	8日	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	9日	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	11日	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	13日	0	0	1	0	0	0	0	20	31	0	0	0	0	0	0	1	1	
	14日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	16日	欠測	0	0	0	0	欠測	0	0	0	0	2	欠測	0	0	0	0	5	
	17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	18日	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	
	19日	0	欠測	0	0	0	0	欠測	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	20日	0	欠測	0	0	0	0	欠測	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	21日			0					2										
	22日			1					0										
	23日			1					3										

注1)ウンカ類：佐賀市のトラップは農業試験研究センター調査。嬉野市のトラップは農業技術防除センター調査。
 注2)コブノメイガ：神埼市、白石町、伊万里市、嬉野市は各調査員が調査。
 佐賀市の粘着トラップは農業試験研究センター、フェロモントラップ(6月9日設置)は農業技術防除センターで調査。
 長崎県のデータは、長崎県病害虫防除所提供。

図1 トビイロウンカの発生予想パターン 第2版

(平成27年7月24日、佐賀県農業技術防除センター作成)

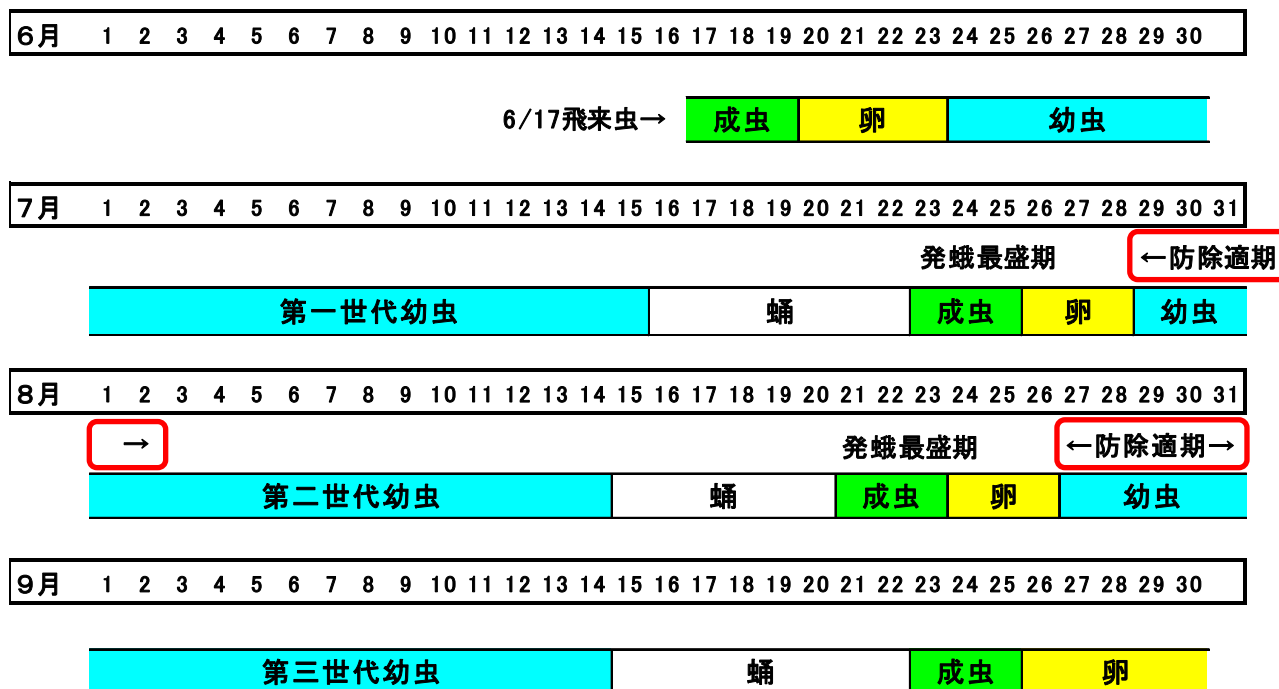


(注)

- (1) それぞれの飛来虫を起点として、有効積算温度と佐賀市川副町(農業試験研究センター内)の日最高気温及び日最低気温(7月23日までは今年のデータ、7月24日以降は平年値)を基に、その後の発生を予測した。
- (2) **防除適期は、幼虫ふ化揃い期である。**
- (3) 飛来量及び本田での増殖量は地域及び圃場ごとに異なるので、必ず各地域及び圃場ごとの発生状況を確認して防除を実施する。
- (4) 発生予想パターン第1版(7月14日作成)では、6月30日飛来の第2世代幼虫の発生始めは8月12日と予想した。7月23日までの気温で再計算した結果、7月14日以降の気温が平年より低く推移したため、今回の第2版での同幼虫の発生始めは、8月13日となっている。

図2 コブノメイガの発生予想パターン

(平成27年7月24日作成、佐賀県農業技術防除センター作成)



(注)

(1)6月17日の飛来虫を起点として、有効積算温度と佐賀市川副町(農業試験研究センター内)の日最高気温及び日最低気温(7月22日までは今年のデータ、7月23日以降は平年値)を基に、その後の発生を予測した。

(2) 防除適期は、発蛾最盛期の7日後(幼虫ふ化揃い期)である。

(3) 飛来量及び本田での増殖量は地域及び圃場ごとに異なるので、必ず各地域及び圃場ごとの発生状況を確認して防除を実施する。

(4) 今後、新たな飛来波が加わる可能性もある。最新の飛来状況については、佐賀県農業技術防除センターのホームページ(<http://www.pref.saga.lg.jp/boujo.html>)における「海外飛来性害虫情報」を参照する。